

令和2年第1回定例会

総括質疑通告一覧表

質疑順序 会派名 代表(個人)質疑者氏名 発言日/質疑時間	質疑項目	質疑の要旨	関連質疑者
3 絆ちがさき 青木 浩 3月6日/120分	施政方針から、市長の基本的な考えについて	(1) 就任から1年3か月を経て、市政運営から見た将来のこの街の展望、諸課題等についての所見を問う。 (2) 市長就任後、初の本格予算に対し、施政方針のご自身の所見を問う。 (3) 施政方針には「人口減少を踏まえ、原点に立ち返って」とあるが、原点とは、その基準は何かを問う。また、事業の重点化とは主眼をどこに置くのか、考えを問う。	
	次期総合計画・実施計画策定について	(1) 次期総合計画策定に当たり、令和2年度は茅ヶ崎市の今後10年間の指針となる重要な一年となり、様々な課題が取り巻く中、市長のリーダーシップに期待するが所見を問う。 (2) 政策分野ごとに分類されているが、生涯学習、福祉、都市基盤整備等といった、政策分野を越えてまとめ上げる必要があると考えるが取り組みを問う。 (3) 厳しい財政状況を踏まえ、次期総合計画策定に当たっては、市民の理解、また、市民の皆様との協働が重要と考えるが対市民との取り組みを問う。	
	令和2年度の主要な事業について	(1) 道の駅整備事業について、令和4年3月オープンを目指す、建物構想から建築工事、店舗内容、運営事業体等、猶予期間も迫っていると考えますが、令和2年度の取り組みを問う。 (2) 漁港北側駐車場・多目的広場等整備事業について、今後、茅ヶ崎海岸グランドプランの考えのもと、どのように有効活用していくのか。また、周辺の県営西浜駐車場跡地、道の駅整備、茅ヶ崎ゴルフ場利用地など国道134号を線と捉え、一体の活性化事業が重要と考える。大きな視点で捉えられているのかを問う。また、財源についての根拠を問う。 (3) 風水害対策事業について、今年の台風第19号を踏まえ、改めて自助・共助・公助の考えを問う。また、浸水想定地域の避難所のあり方について問う。 (4) 消防の広域化の検討について、令和4年度からの運用に当たり、新たな組織体制、消防車両の整備、最終的な署所配置に向けて準備を進めていくが、その構想を問う。 (5) 下寺尾・堤周辺地区まち起こし事業について、(仮称)茅ヶ崎市歴史文化交流館整備に合わせ、北部地域の活性化を期待するが、周辺道路を含め交通インフラ整備の取り組みを問う。 (6) 世界的課題であるマイクロプラスチック排出抑制の取り組みは海岸を財産とする茅ヶ崎においては、その意識、茅ヶ崎の魅力、環境問題に取り組む街としてアピールできるよう進めるべきと考えるが問う。	
	茅ヶ崎市財政健全化緊急対策について	(1) 総人件費の削減に向けて「(仮称)茅ヶ崎市第5次定員適正化計画」が策定されるが、「次期基本構想を見据えた定数管理の考え方」から推計した長期財政見通しでは人件費にばらつきがあり、定数削減をどのように取り組むのか。また、ICT技術活用により職員削減はどのくらい見込めるのかを問う。 (2) 補助金の見直しについて市単独で実施している既存の補助金については、廃止、休止または削減とし、さらに新規は認めないとされているが、これまで、民間活用を推進してきたが、その整合性や事業によっては非常にネガティブに感じる。これまでの信頼関係も含め、慎重に精査し、事業によってはより発展的で積極的な転換を求めるが考え方を問う。	
	茅ヶ崎市立病院リバイバル・ロードマップについて	(1) 病院事業会計負担金について、国の繰り出し基準に基づき、算定項目の査定を行い、一般会計で負担すべき額を計上したが、リバイバル・ロードマップに示されている実質、適正な水準の負担金に満たないのではないかと。また、KPIの達成に向けた期間限定の補填的財政支援をどのように考えているのかを問う。 (2) 別棟も完成し、これまで以上に経費の増加が見込まれるがそれに見合った以上の収益を上げなければいけない課題が改めて浮き彫りになり、それに対する戦略を問う。また、職員給与費について、その改善の方法を問う。	
予算編成について	(1) 予算編成に当たり、扶助費等の社会保障関係経費の増加が見込まれる中、年度間の財源の不均衡を調整するためといえ大幅に財政調整基金を切り崩した厳しい予算編成となったが、各事業のシーリングを行ったとはいえ、特に自然災害対策など着実に行うべきだが、その弊害を危惧するが考え方を問う。 (2) 償還金について、令和2年度の約50億円から令和4年度には約60億円に上がっていく。各事業において事業費とともに償還金も含めその事業の費用対効果等精査し検討する必要があると考えるが市の考えを問う。		

	広報戦略について	(1) 茅ヶ崎市の情報を積極的に発信し、市民との特性を生かして連携することで、まちの魅力を増幅させることができるとされているが、人口減少期に対するシティーセールス等、市長が先頭となり、トップセールスを行うことは不可欠と考えるが、広報戦略の取り組みを伺う。	
	保健所の運営について	(1) きめ細やかで迅速な保健衛生サービスの提供について、保健所政令市として更なる機能充実を図るべきと考えるが現在の状況を踏まえた考えを伺う。	

質疑順序 会派名 代表(個人)質疑者氏名 発言日/質疑時間	質疑項目	質疑の要旨	関連質疑者
4 市民自治の会 小磯 妙子 3月6日/120分	市民の安全のための 防災力強化に向けて	(1) 地域や災害の種類、及び一人一人の生活の状況に応じた災害時の個人行動計画づくりに向けて、市民の意識啓発と策定の支援の方針を伺う。 (2) 特に喫緊の課題である災害弱者の災害への備えについての支援の方針を伺う。 (3) 防災拠点の安全性と代替施設の確保の方針について伺う。	
	子育て支援について	(1) 子ども未来応援基金の活用について ・基金へのさらなる市民の理解を得て、マッチングギフト方式等、持続的に基金の積み立てを行うための方策を伺う。 ・助成対象事業の拡大の方針を伺う。 (2) 母子保健の充実について ・産後ケアの充実が求められている昨今、本市の取り組みの方向性を伺う。 ・国の次世代育成支援対策施設整備交付金の活用で、産後ケアセンター設置に向けて、広域連携の取り組みの方向性について見解を伺う。	
	安定的な医療提供体制の充実・強化について	(1) 総合診療の視点を持った地域医療の充実に向けて、現状と課題を伺う。 (2) 市立病院の果たす役割と茅ヶ崎市立病院リバイバル・ロードマップへの市民の理解を図ることについて方針を伺う。	
	公文書管理と職員の働き方について	(1) 公文書等管理条例の制定に当たり、公文書管理法の目的を担保するための具体的方策について伺う。 (2) 情報公開制度の整備を含めて、関連する制度の整備が必要と思うが市の方針を伺う。 (3) 行政文書の作成に当たる職員の文書作成にかかわる意識及び業務執行のあり方、すなわち働き方を大きく変えることが求められている。具体的にどう対応する方針か伺う。	
	環境基本計画の策定について	(1) 今期計画の総括において、特に、自然環境の保全、創出について成果と課題をどう検証したか伺う。 (2) 地球温暖化防止対策において市民や企業の理解、協力は十分であったか伺う。 (3) その検証から、次期計画の策定の方向性を伺う。	
	市民の課題解決に向けて社会教育の充実について	(1) 社会教育機関としての役割を果たすため、施設とともに職員(人材)の充実を図るための方針を伺う。 (2) ジェンダー平等や多様性を認め合う社会の形成のために社会教育事業をどう充実させていくか伺う。 (3) 市民の課題解決に向けた学習を支援するために、市民団体、地域団体との連携をどう図っていく方針か伺う。 (4) 子供たちを取り巻くさまざまな課題解決に向けて、学校教育と社会教育の連携をどう図っていくか伺う。	

質疑順序 会派名 代表(個人)質疑者氏名 発言日/質疑時間	質疑項目	質疑の要旨	関連質疑者
5 新政ちがさき 新倉 真二 3月6日/90分	本市の財政について	(1) 本市の経済情勢と今後の財政の見通しについて問う。	
	次期総合計画について	(1) 次期総合計画の具体的な考え方について問う。	
	子どもの貧困対策について	(1) 子どもの未来応援対策等について問う。	
	妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行うための施策等について	(1) 児童虐待について問う。 (2) 母子保健事業について問う。	
	地域で自分らしく暮らすことについて	(1) 包括的な相談支援体制の構築及び権利擁護の措置について問う。	
	保健所について	(1) 保健所の環境整備と今後の対策について問う。	
	市立病院について	(1) 茅ヶ崎市立病院リバイバル・ロードマップについて問う。	
	ごみ減量化に関する事業について	(1) ごみの有料化と地域への説明について問う。	
	防災対策について	(1) 地域防災について問う。	
	浜降祭について	(1) 浜降祭の運営等について問う。	
	下寺尾・堤周辺地区まち起こし事業について	(1) 地区のまちづくりの展開について問う。	
	公文書管理について	(1) 公文書管理のあり方について問う。	